応用生物学部

水環境工学（浦瀬太郎）研究室

東京工科大学
Tokyo University of Technology

水を磨く技術で環境を守る

研究内容

1. 医薬品と水環境

抗生物質耐性菌の調査

GC/MSによる環境中医薬品の定量

2. 水環境の臭気

フィールドでのサンプリング

嗅覚による水環境の測定

3. 水処理技術

試作中の膜分離活性汚泥法の処理装置

廃水処理の実験中

担当教員から

水に微量に含まれている医薬品だったり臭気物質。そんなものが研究の対象です。研究室を飛び出して，川や水辺も研究対象です。水処理関係の会社に就職する人が毎年いるのも特徴です。

主な著書　明解水質環境学(プレアデス出版, 2011)，公害防止管理者［水質関係］完全合格教本(新星出版社, 2012)

浦瀬　太郎

研究室の行事

新人歓迎会，OB会，高尾山ハイキング，高尾山ビアガーデン，など，様々な行事があります

中間発表後

卒業旅行

卒業生の声　水に触れる研究を通して、専門への意識が高まりました！

卒業研究では、水の臭気に関する環境調査を行いました。多摩川の河川水や処理場の放流水を採取し、研究室では“鼻で臭いを判定”します。環境に興味をもった時からフィールドワークをやりたいと思っていた私には、まさにぴったりのテーマ。３年次には環境系の企業でインターンシップも経験し、人々の環境への関心の高さと仕事の責任とを実感しました。卒業後は地元で水処理関連の企業に就職しました。地域の環境保全に貢献できるよう頑張ります！

工藤大輔
応用生物学部（環境生物コース）
2011年3月卒
長野県立野沢南高校卒
第一公害プラント株式会社　就職